

九月中に獨軍自信以て豪語
英本土攻畧終るこ

「經濟十九日新聞云、英獨空軍の接触停まる。制空權爭戰の激
烈により、英獨空軍はクライマックスに近づきつつありと見
られてゐる、ドイツ陸上部隊による上陸準備作戦が一時取行
されるかについては、各方面とも懸念を感ずてゐるが、ド
イツが今後大規模の空襲を續けて英本土の軍事施設に空襲工
作を徹底的に継続して、空軍の攻撃のみによ
つて事實上英國を屈服せしめ、陸上
部隊の作戦は單なる名目上のもの
たらしめる新戦術に出るか、空襲に成る
程度で切り上げ適當な時機を見て陸上部隊を上陸
せしめ英本土を席捲する從來の作
戦の定石を行くかの二つに歸して
ゐる、これ等の懸念に新たな材料を加へるものとして
十九日のブリュッセル發A.P.電は豫備前目トフランス、ベル
ギー、德國において英國上陸作戦に使用する
目的で新武器を試験中で、獨海軍
當局はこれを以て世界を驚倒せ
しむるに足る、全然新たな武器ださ

政府國民の意思疎通計る

一、系組組織は左の如くに、中央迄（又は州）に第一系組、都府、市には第二系組、郡侯が、市の下は第三系組、郡の下は第四系組の組織を以て一系とし、至多約二百程度とす。

二、（又はは州）府縣以下は各系組並位互にそれなく、第二系組が、都府、市、郡、縣の地位又はは第三系組を置く。

三、常體は月一回程度の會議を開き、民生生活に關する凡百の重要を諮詢として上意下達、下意上達の間斷たらしむ、常會は警察廳の主任に在り。

一、朝鮮常會には都府代表者の他に小学校校長、産業組合、商業組合、農業組合の職務を基礎とする各種産業團體、産業奉獻會、農工商會館、職業地位の各組織、其他各種文化團體、愛國團體等に對しては總合すべきものはこれ地域の組織に、總合吸收し然らざるものはそれ、獨自の系統による組織を形成せしめ、それ等に對しては中央並に各地方組織において密接なる連絡を有せしむ。

政府、國民の意思疎通計る

のくしい探索は、その人
求めるのであらう

英バル
 カン政策を放棄

成立の結果、米艦は目下使
 用してゐない羅賓ソン號を
 カナダに引き渡して、カナ
 軍は多量の擧げ橋に継続さ
 れた水兵を有するから自
 衛留防衛のため、軍艦が

英の軍艦は何處にも引出さ
 れない。カナと云ふとなら

英四十年の軍例である。

駐ニルニア公使に歸還命令

羅馬十九日附の電報云く、
到したる駐ニルニア公使は數
日に於てバグダッドを訪問すべしと命ぜられたり。

ドの解説

一八八四年度より開始を
要とし、以後年度の開始を勘定
とし、一八八六年度より、連立の
に特許するようになった。
ソマリアド 試験の経験

決したと謂はれる。確固する
に最近ルー・マニエ、政府の駐英
憲度には、連立の利益と共に
根本的變化を施すに至つたの
で、ルー・マニエ政府を通じて
行はれつゝある英國のバル
カ、政府は密に監視を止むな
き、至つたものである。

● 本物の馬に勝つたので、
際際一時は止し、ロンドン
にホタトギス。

● シンガポールから、百下
の、此の國に、政府が、
た、これは、四、五、六、七、
である。

[illegible]

市街戦があるので
壁と壁の間に避難
石射利蘭公使一行歸る

（東京廿日新聞）ドイツの監
戦が交されるので私
壁と壁の間に難を避

市街戦があるので
壁と壁の間に避難
石射利蘭公使一行歸る

（東京廿日新聞）ドイツの監
戦が交されるので私
壁と壁の間に難を避

公使館
二九〇
二九〇、一三八八
に於て煙草の帝國公使館を最後まで守りつづけてた石狩時命全權公使は殊見賢輔とその家族、ナミ夫人、カズ子さん（六才）英子さん（四才）ラン子さん（二才）一行を伴つて十日午後九時東京を發つて、順次、

キウス氏を任命した。キウス氏は十九日、蘭州に赴き、蘭州のキウス氏を任命した。キウス氏は十九日、蘭州に赴き、蘭州のキウス氏を任命した。

[illegible]

[illegible]



日本式御馳走用具類

▲重箱 漆座 同 エスマルタ塗 ▲箸 九箸 五十人分七、〇〇〇	▲すし巻すだれ ▲日本釜のフタ ▲しゃもじ ▲すし型 一個 六針 一枚 二、五〇〇 一枚 十二針 一本 一、五〇〇 六〇針 四五針	▲すりこギ ▲セイロ 二キロ入 五十五針 三キロ入 六十針	▲すり鉢 大型 (九寸經) 十針 中型 (八寸經) 九針 小型 (七寸經) 八針 一本 二針
---	---	---	---